

ポイント

最大たるより最良たれ

日本五大銘茶「朝宮茶」の普及に努力

- 良質な朝宮茶の販売に限定せず、心のこもったお茶のサービスと地域資源信楽焼の活用で付加価値を向上
- 滋賀県内グランプリ連続優勝「あさみや金時」の実績があり、遠方よりの来店者がある
- 開業当時より朝宮茶の普及に努力し、喫茶・スイーツ・海外対応等、時代に合ったサービスを追求している

企業基本情報

所在地	滋賀県甲賀市信楽町上朝宮 275-1
電話/FAX	0748-84-0014/0748-84-0136
URL	http://www.yamamotoen.co.jp/
代表者	代表取締役社長 山本 靖
設立	1981年
資本金	1,000万円
従業員数	16人



会社概要

1870年創業。国道307号線沿いに立地し、日本五大銘茶の朝宮茶を中心に取り扱い、大正時代から天皇への献上や全国茶品評大会で1等を受賞するなど、高い品質が評価されている。1986年より喫茶部門を設け、日本茶の飲み方を提案。近年では「あさみや茶スイーツ」にも力をいれ、テレビ取材も多く受けている。茶葉トレーサビリティ、「近江の茶GAP」にも取り組み、海外展示会にも、積極的な販路開拓をしている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

良質な朝宮茶で心のこもったお茶のサービスと信楽焼の活用

大正時代から天皇への献上や全国茶品評大会で1等を受賞するなど高い品質が評価されている。上質なお茶を販売するだけでなく、店主自らお茶を淹れるというおもてなしのサービスがあり、信楽へ来たら必ずお茶を飲んで、お茶を買って帰るといった長年の常連客も多い。喫茶コーナーでは地元の信楽焼の茶器を使い、最高の環境でお茶を飲む時間や空間を提供している。



六古窯の信楽焼と日本五大銘茶朝宮茶のコラボ

滋賀B級グルメグランプリ2年連続優勝・イナズマフードGP優勝

「あさみや茶スイーツ」と名付けたオリジナルデザート類を用意。特に「あさみや金時」は滋賀B級グルメバトルにて2012・2013年度連続グランプリを受賞。2015年はイナズマロックフェスで「イナズマフードGP 2015 グランプリ」受賞。イベントでの受賞がテレビやメディアによく取り上げられ、遠方より来店されている。同社の商品としてではなく「あさみや」地域の知名度を上げるための商品になっている。



滋賀B級グルメ・イナズマフードGP優勝写真

開業当時より朝宮茶の普及に努力を続けている

1986年に併設した座席数50席の喫茶店舗は、信楽を訪れた方に朝宮茶の味わいや品質の高さを伝える場所として機能してきた。今でこそ日本茶カフェは雑誌などで特集までされているが、開業当時は非常に珍しく、日本茶・朝宮茶の飲み方を提案してきたことは先見の目があった。

2014年には、あさみや茶スイーツ「抹茶葛餅」が甲賀ブランドに認定され、地域ブランドとして朝宮茶の情報発信拠点としての役割を担っている。



オンラインショップ 茶畑風景